



「越ヶ谷秋まつり」開催

10月12日、13日には3年ぶりに「越ヶ谷秋まつり」が開催されました。約300年以上の伝統ある旧越ヶ谷町のまつりは、五穀豊穡を祝って古式豊かな大行列や神輿、さらに八カ町内自慢の山車が巡行し、昔の日光街道「越ヶ谷宿」の反映と当時の文化を今に伝えています。

12日はあいにく台風19号のため、山車の引き回し等は中止になりましたが、今年は私が生まれ育った新石三



年番町(新石三丁目)の御仮屋と神輿

年番町、新石三丁目山車の高覧上層には堂々たる「弁慶」が!



完成



山車人形「弁慶」の着付け中

丁目が年番町で、久伊豆神社の神輿は町内に設置された御仮屋に納められました。また、この機会に山車人形「弁慶」の衣装を新調し、私は衣装作りと着付けをし、特に感慨深い秋まつりになりました。

近年は実行委員会で開催に臨んでいますが、財政事情や人口減少、交通規制、安全対策などの諸課題により数年ごとの不定期開催になっています。

私は、越ヶ谷市の伝統や文化を確実に次世代へと伝えていくとともに、越ヶ谷市のシティプロモーションについても引き続き全力を注いでまいります。

イオンレイクタウンとの「緊急時における防災活動協力に関する協定」締結

私は、昨年3月定例議会と今年3月定例議会の代表質問で、外国人観光客等の災害時対応の取り組みについて提案をしました。市長からはイオンレイクタウンと災害時における外国人観光客等の一時滞在受入等の具体的な明記を含めた協定の見直しを行い、4月中を目途に再締結に向けて協議している、との答弁がありました。

その後、イオン側との協議の結果、遅れてしまいましたが、去る8月26日、イオンリテール(株)北関東カンパニー並びにイオンモール(株)営業本部と「緊急時

における防災活動協力に関する協定」を締結しました。

協定書の要請する協力事項に私の提案事項や水害時の対応など具体的に明記されており、この度の台風19号では一時車両の避難場所としてイオンレイクタウンの駐車場が開放されました。

私は、今後とも災害に強いまちづくりを目指して、防災・減災対策に積極的に取り組んでまいります。

私の提案が実現!!

市議会議員

ごとう孝江

連絡先

●自宅

〒343-0806 越ヶ谷市宮本町1-66-4 越ヶ谷ニューライフ205号
TEL・FAX 048-966-5088

●越ヶ谷連絡所

〒343-0813 越ヶ谷市越ヶ谷3-3-26
TEL・FAX 048-964-3243



ホームページのアドレスは
<http://takae510.jp>

越ヶ谷市議会議員 越ヶ谷市宮本町1-66-4 越ヶ谷ニューライフ205号

ごとう孝江

活動報告 2019年秋 ● 第71号

めぐもりある越ヶ谷を
ついでます!!



所属

- 総務常任委員会委員長
- 越ヶ谷・松伏水道企業団議会議員

朝夕はひとしお冷え込むようになってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

まずは、台風15号、19号により被災された皆様、並びに関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

さて、4月に施行されました統一地方選挙では、皆様からの力強いご支援のより、おかげさまで市議会議員6期目をいただき、現在、総務常任委員会委員長、越ヶ谷・松伏水道企業団議会議員を仰せつかっています。



越ヶ谷市議会災害時対応訓練 記事は中面をご覧ください

また、議会では新会派「立憲・市民ネット」(立憲民主党4名、越ヶ谷市民ネット2名)を結成し、活動をいたしております。

私は、直面する少子超高齢化及び人口減少社会への対応、市民サービスの拡充、地域活性化、そして災害対策の充実など多くの課題にこれまで以上に取り組む覚悟でございます。さらに今後も高橋市長をサポートし、越ヶ谷のまちづくりに全力投球してまいりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

時節柄、いっそうのご自愛のほどお祈り申し上げます。

令和2年度(2020年度)予算要望書を提出

10月17日、私の所属会派「立憲・市民ネット」は令和2年度の予算編成にあたり、55項目の予算要望書を市長に提出しました。



議会報告

9月定例議会

令和元年9月定例議会は、9月2日に開会し、市長提出議案31件、議員提出議案1件が上程され、すべて承認、同意、認定、可決されて26日に閉会しました。また、私は、決算特別委員会副委員長に就任し、9月13日、17日、18日の3日間、決算審査に臨みました。

主な議案

○専決処分事項の承認について
(令和元年度一般会計補正予算) 8,700万円
参議院議員補欠選挙(10月27日執行)に伴う。

○越谷市教育委員会委員の任命について
荒木明子氏

○越谷市消防団条例の一部改正について
成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づき、消防団員の欠格条項から「成年被後見人又は被保佐人」を削除する。

○越谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
幼児教育・保育の無償化に伴い、これまで保育所(園)の保育料に含まれていた副食費(おかず代)が実費徴収になる(越谷市立保育所の場合月4,500円)。

3歳以上の保育園児に対し、低所得世帯や第3子以降は免除される。10月1日から施行。(詳細は子ども家庭部子ども育成課へ)

○越谷市学童保育室設置及び管理条例の一部改正について

- ①荻島学童保育室の移転 10月1日から
- ②保育料の改定 令和2年4月1日から施行

利用児童	現行		改定後
第1子	7,000円	⇒	8,500円
第2子	3,500円	⇒	4,200円
第3子目以降	0円	⇒	0円

○令和元年9月補正予算

補正予算額	一般会計	55億2,000万円
	特別会計	18億4,613万3,000円
補正後予算額		1,849億1,113万3,000円

○越谷市印鑑条例の一部改正について
住民基本台帳法施行令の一部が改正され、住民票に旧氏の併記が可能になり、旧氏併記された人は旧氏の印鑑登録ができる。11月5日から施行。

問 中核市移行に伴って懸念されていた財政への影響についての判断は？

答 平成30年度決算における中核市関連の歳入・歳出の概算額について、中核市に移行しなかった場合を比較したところ、歳入では増加項目と減少項目の差し引き額が約1,300万円の減となっている。

一方、歳出では保健所運営の増など、全体で約11億6,500万円の増加となっており、歳入の減少と歳出の増加を合わせると、約11億7,800万円の一般財源所要額が増加していることになる。これに対し、普通交付税の算定における基準財政需要額が約11億9,500万円の増加となっているため、一般財源所要額の増加分は、概ね財源保障されていると考えている。

問 財源の確保への取り組みは？

答 国の動向が地方の予算編成に大きく影響するため、日頃から情報収集に、努めるとともに国に対し機会あるごとに要望などを行っていく。

問 「政策立案の基盤である」統計業務における信頼性を確保するための対策は。

答 統計業務では職員、調査員、指導員には専門的知識が求められるスペシャリストが必要と考えている。規範意識の徹底、作成プロセスの透明化にも努めていく。

問 平成28年の「がん対策推進条例」制定後のこれまでのがん対策の評価は。

答 条例制定以降、各事業に取り組んできたが、最終的な評価としては、がん検診の受診率向上が必要と認識している。受診率は平成28年度から微増と横ばいを繰り返しており、今後も民間事業者とのさらなる連携を図り、向上に努める。

がん対策の主な事業

- コバトン健康マイレージ
- 小中学校におけるがん教育
- 市民まつり等で乳がん自己検診用グローブ配布
- 医療と介護の連携窓口の開設
- 南部図書室にがんコーナーの設置

越谷市議会災害時対応訓練を実施

去る9月24日、恒例の市議会災害時対応訓練が実施されました。平成23年(2011年)に発生した東日本大震災を教訓に「越谷市議会における災害発生時の対応要領」「大規模地震発生時の行動マニュアル」制定し、毎年実施内容等を検討し行われています。今年も、災害発生時のメール受信・安否確認報告後、近くの避難所(小中学校、地区センター)を訪問または状況確認し、市役所に参集。私は越ヶ谷小学校を訪問し、校長先生と意見交換をいたしました。参集後は、災害対策支援本部会議を開催、危機管理課による避難所開設等の説明を受けるなど有意義な訓練でした。後日、台風19号の際には市議会災害対策支援本部が設置され、情報収集や共有、発信を行いました。

問 出羽堀はつらつプロジェクト事業の評価と課題は。

答 この事業は埼玉県の「川の国埼玉はつらつプロジェクト」と連携し、水辺を活用した賑わいの創出や地域活動の活性化を図るための親水空間等整備事業である。道路では640mのうち238mを整備、ポケットパーク1か所を整備した。地域の方々が主体のワーキングチームにより維持管理や利活用方法について進めていく。



▲「出羽堀はつらつプロジェクト事業」水路をなおしています



▲整備されたポケットパーク

決算特別委員会

ごとう孝江の主な質疑

平成30年度決算概要

	歳入	歳出
一般会計	1,028億5,019万円	977億1,268万円
特別会計	696億1,968万円	670億9,914万円

※市の財政状況を示す健全化判断比率のすべての指標及び資金不足比率は国の基準を下回り、前年度に続いて健全財政を維持しています。

その他の質問

- DV相談件数が5年前と比較して倍近くに増加している。DV被害者支援の現状と庁内体制の成果と課題は。
- 口腔保健と生活習慣病のかかわりの認識及びセミナー等の実施は。
- がん検診のアンケートの手法や検診のPR方法の考え方は。
- 御殿町ふれあい公園の用地取得状況と今後の見通しは。